

一般会計補正予算 (第3号)

村民一人当たり、

10,000円の商品券!!

補正額: **2億1768万1千円**

総額: **112億8496万6千円**



景気回復支援商品券事業

1億2550万円



村内主要ホテル感染予防機器購入等補助 (サーモグラフィや非接触型体温計等)

4100万円

質疑応答

質: 定住促進事業用地取得総合支援業務とは

答: 谷茶区における用地取得事業で、対象100筆の残り26筆の購入委託業務である。

質: 村道勢高2号線の用地取得事業で、未契約の理由と、契約者への支払いが遅れている理由は。

答: 土地所有者の相続人の数が多く、承諾を得るのに時間を要している事と、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響で登記業務が遅れている事が原因である。

質: 景気回復支援商品券事業の農水産物専用3000円、共通用7000円の商品券をもっと使いやすい統一した商品券にできないか。

答: 収入が減少した村民を支援するとともに、売り上げが低下した村内農水産業従事者を応援することを目的としており、商品券利用の際に偏りが出ないように、村内の農水産物を意識させるためである。

記事担当 大城 保

本陳情は、村関係の農業関係3団体(恩納村地域農業振興推進協議会、沖縄県花卉園芸農業組合、(有)沖縄北部花卉園芸組合)連名で提出され、その内容は、新型コロナウイルスの蔓延により経済が大混乱を起こし、本村でも観光産業や農産物の消費低迷等により農産物の出荷量及び出荷制限による生産物の廃棄処分、販売価格の下落が本村農業にも例外なく多大な被害をもたらしており、農家への影響が出ている。

委員会で審査した結果、観光関連団体の陳情も先に取り上げ、陳情も採択され、国・県へ意見書も送付されていることから、新型コロナウイルス感染拡大により、それぞれの関係業種で影響を受けているので、本村議会として、当然取り上げ採択し、要請すべきとの意見がありました。

採決の結果、出席した全委員の賛成で採択すべきものと決しました。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会審査報告(抜粋)

陳情第9号 新型コロナウイルス関連の影響を受けた農業経営者への再生産につながる支援について(要請)

ていく中、外国人技能研修制度を活用した研修生及び雇用人件費支払、既存借入れの返済、生活費、今後の再生産等の目途が立たない状況で、生産農家が前に進めない状況となっており、そこで生産農家に対する緊急かつ効果的な助成を国・県・村に要請するものであります。

トピックス

(要請内容) 令和2年4月22日要請 (8件)

- 1. 新型コロナウイルスの影響による単価安になった販売量分の単価助成 (算定例) 過去5年中3年の各品目平均単価を基準
 - 1. 花卉類の出荷停止で廃棄処分した分量の平均価格での補填
 - 1. 今後の各種作付け費用(資材等)について一定期間費用補填
- 1. 恩納村農業生産資材補助金率のアップ (第4回5月臨時会補正予算において可決)
- 1. 公庫セーフティネット資金とJ A・花卉農協の新型コロナ対策融資に対する利子助成
- 1. 農産物関係リース事業等の支払い猶予
- 1. 外国人技能研修制度を活用した研修生の給与一部助成
- 1. 農林水産物流通条件不利性解消事業等の恒久的制度化



農業生産資材補助



自動選別機花口ボ